【至峰堂画廊 SHIHODO Gallery】

アートフェア東京 19 出展 「戦争画」をテーマに近現代アートを展示

会期:2025年3月7日(金)~3月9日(日)

至峰堂画廊 (東京都中央区銀座)は、3月7日(金)~3月10日(日)に開催されるアートフェア東京19 に出展いたします。「戦争画」をテーマに、近代洋画家たちの作品と、現代美術家・山本雄教の作品を展覧 いたします。

「戦争画」は当時の記録として、もしくは国民の戦意を高めるために主に軍からの依頼で制作されました。 戦闘の場面や兵士、軍艦などを記録した作品もあれば、旭日などの象徴的なモチーフを描いた作品まで様々 です。時には従軍し記録画として、あるいは構想画として戦争を描き出した近代洋画家たちの作品を通じ て、作家の時代との関わり方、その中での自己表現を見つめつつ、未だ評価を定め得ぬままの戦争画の位 置づけの契機を探ってまいります。

同時に、現代美術家である山本雄教による新作を展示いたします。テーマを「Reflection」と題した今回は、 世界各地で内戦や紛争が継続する中、過去の戦争や戦争画を省みることで、現代を生きる作家としてどう 向き合うことができるのかを試みた内容を展覧します。



鶴田吾郎「軍旗ジャングルを進む」 油彩・キャンバス 12P



山本雄教「171円のヒーロー」 麻紙、色鉛筆、一円硬貨のフロッタージュ 12P

【アートフェア東京 19(2025)概要】

会 期: プライベートビュー 3月6日(木) 11:00 - 19:00 パブリックビュー 3月7日(金)・8日(土) 11:00 - 19:00

3月9日(日)11:00-17:00

会 場: 東京都千代田区丸の内 3-5-1 東京国際フォーラム B2F 【ホール E 】

入場料 : 前売 4,000 円(税込)/当日 5,000 円(税込)

至峰堂画廊 ブース :【 N034】

<お問い合わせ先>

至峰堂画廊 / 広報担当 山岡

MAIL: ginza@shihoudou.co.jp TEL: 03-3572-3756 FAX: 03-3572-3757 https://www.shihoudou.co.jp 東京都中央区銀座 6-4-7 いらか銀座ビル 1・2 階



鶴田 吾郎 「軍旗ジャングルを進む」 油彩・キャンバス 12P

鶴田 吾郎 (つるた ごろう)

1890年東京生まれ。早稲田中学を中退したのち、白羊洋画研究所に入り洋画を学ぶ。その後、白馬会洋画研究所に入門し、さらに太平洋画会研究所に移って中村不折に師事して油絵を学んだ。太平洋画会研究所では中村彝と出会い、無二の親友として交友した。

1939 年陸軍美術協会を設立し、以後陸軍美術店、聖戦美術展、大東亜戦争美術展、海洋美術展、航空美術展など、終戦までに開催されたほとんどの戦争美術展に出品した。日中戦争勃発後より、戦争画の第一線で活躍した画家のひとりである。。戦後は国内の各地を旅行して国立公園を描き、日本国立公園30点を完成させた。1969年歿。

心と眼を大切にする

至峰堂画廊

SHIHODO GALLERY

MAIL:ginza@shihoudou.co.jp TEL:03-3572-3756 FAX:03-3572-3757 https://www.shihoudou.co.jp 東京都中央区銀座 6-4-7 いらか銀座ビル 1・2 階



中村 研一 「コタバル敵前上陸」 油彩・キャンバス 8P

中村 研一 (なかむら けんいち)

1895 年福岡県生まれ。中学で2歳年上の児島善三郎と出会い、児島を中心とする「パレット会」への入会をきっかけに画家を志すようになる。その後、鹿子木孟郎の内弟子、本郷洋画研究所を経て、東京美術学校に入学。同校卒業後にフランスへ留学し、帰国後は帝展・日展を主な舞台として活躍。昭和期官展洋画の中心的存在として活躍した。

正確なデッサンと躍動感のある筆使いで、造形的に構築された大画面作品を得意とし、作家として全盛期を迎えたと言われる戦争画などは中村の真骨頂として評価されている。1939年の第一回聖戦美術展で「光華門丁字路」(1938年作)が公開されたのち、それ以後終戦までに陸海両軍すべての作戦記録画を委嘱された。1967年歿。

心と眼を大切にする

至峰堂画廊

SHIHODO GALLERY



山本 雄教 「171 円のヒーロー」 麻紙・色鉛筆・一円硬貨のフロッタージュ 12P 2024 年作

山本 雄教 (やまもと ゆうきょう)

1988年京都府生まれ。2013年京都造形芸術大学大学院修士課程修了。

一円玉や米粒といった身近で些細な存在を用いて、様々な事物を表現してきた山本雄教。「すぐそこにあるものこそが、あらゆるものにつながっている」という作家の世界観のもと、日常的な価値観や現代社会とのつながりを見つめ直す。 国内外でのアートフェアやギャラリーで徐々に存在感を示し始め、数々の賞を受ける注目の作家。

2023 年 京セラ美術館にて個展「仮想の換金(priceless museum)」、Art Award IN THE CUBE 2023 入選。

2024年第9回日経日本画大賞入選。

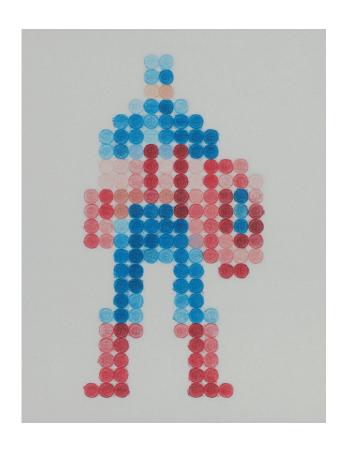
2025年第43回京都府文化賞奨励賞受賞。

心と眼を大切にする

至峰堂画廊

SHIHODO GALLERY

MAIL:ginza@shihoudou.co.jp TEL:03-3572-3756 FAX:03-3572-3757 https://www.shihoudou.co.jp 東京都中央区銀座 6-4-7 いらか銀座ビル 1・2 階



山本 雄教 「155 円のヒーロー」 麻紙・色鉛筆・一円硬貨のフロッタージュ 10P 2024 年作

心と眼を大切にする

至峰堂画廊

SHIHODO GALLERY